

「雇用促進住宅リノベ 手頃な家賃で貸し出し」

# ビレッジハウス能代 雇用促進住宅リノベ 手頃な家賃で貸し出し

賃貸住宅管理のビレッジハウス・マネジメント（東京都港区）は、能代市落合字下前田で雇用促進住宅だった団地をリノベーション（大規模改修）し、入居を開始した。賃貸住宅需要の高まりを受け、1棟10戸の「ビレッジハウス能代」として、

個人の住み替えや法人向けに貸し出している。

独立行政法人「高齢・障害・求職者雇用支援機構」（JHEED、千葉市）が所有していた旧雇用促進住宅を米国投資会社のフォートレス・インベストメント・グループが取得。関係会社で



旧雇用促進住宅を改修して入居を募集している「ビレッジハウス能代」（能代市落合字下前田で）

あるビレッジハウス・マネジメントがリノベーションをして、賃貸住宅として提供している。9月1日時点で47都道府県で10万6876戸の賃貸住宅「ビレッジハウス」を展開している。建て替えではなく既存の建物を有効活用し、長く使

用することで賃料や初期費用を抑えるビジネスモデルで、地方の住まい課題解決につながる事が期待されている。

同市落合字下前田の旧雇用促進住宅は昭和59年10月に建設され、平成19年に廃止した。築39年の2棟80戸のうち、まずは1棟10戸をビレッジハウス能代としてリノベーションした。部屋は53・08平方メートルの3DKの間取りで、賃料は月3万9千〜4万4千円。駐車場があり、ペットも入居できるようにした。手頃な家賃で子育て世帯や高齢者世帯、社宅需要を狙う。

6月に改修し、8月から入居を募集している。管理人が定期巡回している。

ビレッジハウス能代の管理について、ビレッジハウス・マネジメント広報は「地域の需要を見つつ、リノベーションする部屋を増やしていく予定。地元住民の住み替えはもちろん、法人

の入居も見込んでいます」としている。

入居希望者は住まい相談センター（☎0120・218・060）へ。

旧雇用促進住宅は雇用福祉事業として整備された共同住宅で、ハローワークで仕事を得た人や家族らが住むことができ、家賃は民間の相場より安い。特殊法人を合理化する国の方針で令和3年度までに譲渡・廃止され、多くは民間に払い下げられた。